

来年3月に趣味の会合同作品展

趣味の会4講座は来年3月に本館2Fギャラリーで合同作品展を開催します。2020年夏や秋に予定していましたが、コロナ拡大のため延び延びになっていたものです。3月4日～7日を予定していますが、変更もあります。各講座ではすでに出品作品を準備しており、作品展を楽しみにしています。

半年ぶりで活動再開

【9～10月 4講座の活動計画】

●折り紙の会＝（梶田みどり講師）

9月9日にたんぼぼセミナー室で13人が参加して開催。手始めに鶴のポチ袋に挑戦。本題の「萩月スキの色紙」を制作した。

10月例会は28日、たんぼぼセミナー室で。

●書道の会書道の会＝（藤澤淑子講師）

10月は26日午後1時からに研修館①で「玄達」の文字を練習する。玄達とは耳目精明玄達（耳と目の働きが清明）の意。

●絵手紙の会（野見講師）

＝9月17日、7人参加。半年ぶりの活動だった。

「おはぎ」描いたが色も形も単純なのでむずかしかった。



10月は8日に研修館で②で例会をおこなった。

●写真の会＝（木村講師）9月9日にたんぼぼで6人が参加して開催。次回は11月20日。たんぼぼセミナー室で行う。写真の会は毎回、昼食を共にして親睦を深めることにしている。

財政再建へ〈わ〉が提言募集

グループわは、電話相談2事業や水の科学館の受託事業が契約切れになったため、2020年度は大幅な赤字に陥っている。このため財政再建へ積極的な提言を募っている。収益増加策、経費削減策、今後の方向性を盛り込んだ内容を〈わ〉へお寄せください。

夫を誘って一緒に折り紙



高橋 英子（福祉15期）

ある日北区会ニュースを読んでみると、「趣味の会」4講座がスタートしたことを知りました。中でも折り紙は私たち子供の頃の遊びでした。参加のきっかけは、病後の夫が免許証を返納してから少し元気がない様子。認知症予防には指先を使うと良いと聞いていたので、夫を誘ってみました。

幸い講師の先生は真底丁寧で、同じ事を何回聞いても嫌がらず教えて下さる先生でした。長時間集中出来るのか心配していましたが、先生に手伝ってもらいながら、その日のテーマを完成することで充分満足しており、帰宅後、色紙を飾り会話もあり、日常生活との相乗効果が見受けられるようになりました。

2人で外出する良い切っ掛けにもなり、帰路はしあわせの村の四季の移ろいを眺めながら坂道を下り、互いの足音を感じて月1回の健康チェックの日にもなります。楽しくお世話して下さる「趣味の会」の会長さん、折紙の会の先生、皆さまありがとうございます。感謝しています。

写真は折り紙を楽しむ高橋さん夫妻



功労賞の表彰式

北区の2人も晴れやか

2020年度グループわ功労賞8人の表彰式が7月17日、総会の席上で行われました。北区会推薦の石場明さんと前田仁子さんの2人も、やや緊張気味で大槻理事長から賞状と賞品を受け取り「うれしいです」とにっこり。
＝後列右端が石場さん、前列右から2人目が前田さん